

野菜の需給・価格動向レポート(平成24年3月19日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	2月の価格動向			3月の価格動向			生育及び価格の3月の見通し	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額		
	中旬	下旬	上旬					
葉茎菜	キャベツ	88.05	117	138	88.05	109	・入荷見込量：17,131t (100) ・主産地：愛知 (71)、千葉 (13)、神奈川 (13)	・愛知産は、適雨と気温の上昇で玉の肥大も進み、順調な生育、出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。千葉産は、低温の影響で小玉傾向ではあるが、平年並みの出荷となっている。神奈川産は、少なめの出荷となっている。 ・愛知産及び千葉産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		83.73	128	145	83.73	108	・入荷見込量：4,500t (97) ・主産地：愛知 (54)、兵庫 (16)、大阪 (14)、和歌山 (8)	・千葉産及び埼玉産は、低温の影響で枯れ葉が散見され、肥大も進まないことから、少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)	229.99	273	308	229.99	357	・入荷見込量：4,297t (100) ・主産地：千葉 (45)、埼玉 (25)、茨城 (12)、輸入 (7)	・千葉産及び埼玉産は、低温の影響で枯れ葉が散見され、肥大も進まないことから、少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		450.51	545	540	450.51	464	・入荷見込量：260t (104) ・主産地：徳島 (33)、大阪 (14)、奈良 (12)、三重 (11)、高知 (11)、香川 (10)	・茨城産は、秋冬ものが平年より早めに出荷の終盤となる一方で、春ものが、通常より10日程度生育が遅れて、下旬から出荷開始となり、本格的な出荷は4月上旬からの見込み。兵庫産は、冷蔵ものの出荷となっているが、平年より少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き4月上旬まで平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)
	はくさい	61.12	69	85	61.12	108	・入荷見込量：8,445t (95) ・主産地：茨城 (55)、兵庫 (28)、群馬 (11)	・茨城産は、秋冬ものが平年より早めに出荷の終盤となる一方で、春ものが、通常より10日程度生育が遅れて、下旬から出荷開始となり、本格的な出荷は4月上旬からの見込み。兵庫産は、冷蔵ものの出荷となっているが、平年より少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き4月上旬まで平年を上回って推移する見込み。
		68.7	90	91	68.7	104	・入荷見込量：3,100t (95) ・主産地：長崎 (44)、愛知 (16)、兵庫 (11)、熊本 (9)、福岡 (6)、大分 (6)、宮崎 (6)	・千葉産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・群馬産は、冬ものの出荷のピークが過ぎ、一方春ものの生育が遅れているので、月末にかけて減少する見込み。埼玉産は、生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。 ・埼玉産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
	ほうれんそう	307.66	509	433	307.66	391	・入荷見込量：1,386t (100) ・主産地：千葉 (26)、群馬 (24)、埼玉 (23)、茨城 (17)	・千葉産は、低温の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・群馬産は、冬ものの出荷のピークが過ぎ、一方春ものの生育が遅れているので、月末にかけて減少する見込み。埼玉産は、生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。
		341.25	622	520	341.25	413	・入荷見込量：590t (85) ・主産地：徳島 (62)、福岡 (22)	・埼玉産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
	レタス	233.85	357	411	199.64	323	・入荷見込量：7,690t (100) ・主産地：茨城 (35)、静岡 (21)、香川 (12)、兵庫 (8)、栃木 (5)	・茨城産は、最近の適雨により生育が回復し、徐々に出荷量が増加してきてはいるが、安定した出荷量になるのは4月上旬からの見込み。静岡産は、出荷の終盤となり減少傾向で、4月上旬までの出荷の見込み。香川産及び兵庫産は、少なめの出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		226.75	385	411	203.61	354	・入荷見込量：1,350t (96) ・主産地：兵庫 (43)、徳島 (21)、香川 (15)、茨城 (7)	・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	たまねぎ	76.15	96	101	76.15	101	・入荷見込量：11,147t (103) ・主産地：北海道 (63)、静岡 (12)、輸入 (12)	・出荷の大宗を占める北海道産は、前年よりは多いが、平年には届かない出荷の見込み。静岡産は、生育が遅れていたものの出荷が本格化し、平年並みの出荷となっている。 ・北海道産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		76.15	95	98	76.15	101	・入荷見込量：3,800t (101) ・主産地：北海道 (50)、兵庫 (18)、長崎 (11)、静岡 (9)	・出荷の大宗を占める北海道産は、前年よりは多いが、平年には届かない出荷の見込み。静岡産は、生育が遅れていたものの出荷が本格化し、平年並みの出荷となっている。 ・北海道産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
果菜	きゅうり	370.98	384	452	253.93	436	・入荷見込量：5,918t (95) ・主産地：埼玉 (20)、群馬 (20)、千葉 (19)、宮崎 (14)、茨城 (13)	・埼玉産、群馬産とともに、低温と日照不足の影響により生育が停滞し、平年より少なめの出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		350.33	364	456	242.77	439	・入荷見込量：1,250t (87) ・主産地：宮崎 (46)、高知 (24)、徳島 (17)、愛媛 (6)	・高知産は、曇雨天の影響で生育が停滞し、少なめの出荷となっており、下旬までは少なめの出荷が続く見込み。福岡産も、低温と日照不足の影響により、平年より少なめの出荷となっており、下旬までは少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	トマト	332.6	479	642	339.78	594	・入荷見込量：6,043t (98) ・主産地：熊本 (26)、栃木 (23)、愛知 (11)、茨城 (7)、千葉 (6)、群馬 (6)、埼玉 (5)、福岡 (5)	・熊本産は、曇雨天の影響で平年より1割減の少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。栃木産は、低温と曇天の影響により小玉傾向で、平年を下回る出荷となっている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		311.06	440	591	321.78	554	・入荷見込量：1,050t (94) ・主産地：熊本 (56)、福岡 (13)、愛知 (12)	・高知産は、曇雨天の影響で生育が停滞し、少なめの出荷となっており、下旬までは少なめの出荷が続く見込み。福岡産も、低温と日照不足の影響により、平年より少なめの出荷となっており、下旬までは少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	なす	389.03	414	415	347.77	399	・入荷見込量：2,845t (97) ・主産地：高知 (58)、福岡 (21)、佐賀 (6)	・高知産は、曇雨天の影響で生育が停滞し、少なめの出荷となっており、下旬までは少なめの出荷が続く見込み。福岡産も、低温と日照不足の影響により、平年より少なめの出荷となっており、下旬までは少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		397.74	403	405	330.95	394	・入荷見込量：560t (100) ・主産地：高知 (33)、熊本 (21)、福岡 (20)、岡山 (11)、大阪 (9)	・茨城産は、低温と日照不足の影響により生育が進まず、少なめの出荷の見込み。宮崎産も、曇天の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	ピーマン	551.24	701	819	551.24	834	・入荷見込量：1,727t (100) ・主産地：茨城 (42)、宮崎 (27)、高知 (18)、鹿児島 (13)	・茨城産は、低温と日照不足の影響により生育が進まず、少なめの出荷の見込み。宮崎産も、曇天の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		513.91	662	794	513.91	793	・入荷見込量：330t (106) ・主産地：宮崎 (57)、高知 (27)、鹿児島 (9)、和歌山 (6)	・茨城産は、低温と日照不足の影響により生育が進まず、少なめの出荷の見込み。宮崎産も、曇天の影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷が続く見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
根菜	だいこん	79.03	120	117	79.03	134	・入荷見込量：12,495t (97) ・主産地：神奈川 (62)、千葉 (37)	・神奈川産は、降雨の影響で生育がやや回復し順調な出荷となっているが、出荷の終盤を迎へ、4月上旬までの出荷の見込み。千葉産は、低温で生育が停滞し、小ぶりで少なめの出荷となっている。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		80.47	103	102	80.47	118	・入荷見込量：3,100t (105) ・主産地：鹿児島 (28)、徳島 (26)、長崎 (24)、香川 (6)	・千葉産は、出荷の終盤で減少傾向で、3月いっぱいの出荷の見込み。徳島産は、低温の影響で生育が遅れているが、下旬から本格的な出荷が開始する見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
	にんじん	100.82	116	125	100.82	142	・入荷見込量：7,115t (105) ・主産地：千葉 (47)、徳島 (24)、埼玉 (6)、輸入 (4)	・千葉産は、出荷の終盤で減少傾向で、3月いっぱいの出荷の見込み。徳島産は、低温の影響で生育が遅れているが、下旬から本格的な出荷が開始する見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。

種類	2月の価格動向		3月の価格動向		生育及び価格の3月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格			
		中旬	下旬				
いも さといも ばれいしょ	217.95	212	216	217.95	228	・入荷見込量：782t (104) ・主産地：埼玉(35)、千葉(34)、輸入(13)	・埼玉産及び千葉産は、順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年並みに推移する見込み。
	219.65	253	274	219.65	286	・入荷見込量：126t (-) ・主産地：宮崎(45)、愛媛(25)、熊本(7)	
	88.17	115	116	88.17	115	・入荷見込量：9,018t (102) ・主産地：北海道(70)、鹿児島(26)	・出荷の大宗を占める北海道産は、少なかった前年よりは多いが、平年よりはやや少なめの出荷の見込み。鹿児島産は、順調な出荷となり、平年並みの出荷となっている。
	88.17	104	109	88.17	102	・入荷見込量：4,500t (101) ・主産地：北海道(48)、鹿児島(42)	・北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。

2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を5%以上回るもの、背景色は保証基準額を下回るもの(消費税は除く。)。

3) 単位は円／kg。上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の人荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもの近畿は前年実績。

5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、1月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,189gで前年比97%、購入金額は、1,634円で同104%となり、購入量では前年をやや下回り、購入金額は前年をやや上回った。

また、小売物価統計によると、2月のキャベツの小売価格は、245円で過去5か年平均比138%、レタスは、682円で同134%となり、キャベツ、レタスとも過去5か年平均を大幅に上回った。

生鮮野菜の購入量及び金額
(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均	平成23年		平成24年	
		購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	97
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	0
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	0
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	0
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	0
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	0
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792	0

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移
(単位：円／kg)

	キャベツ	レタス		過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
		過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	245	138	508	682	134
3月	188		0	461		0
4月	238		0	462		0
5月	172		0	380		0
6月	144		0	350		0
7月	160		0	324		0
8月	156		0	463		0
9月	155		0	562		0
10月	161		0	505		0
11月	162		0	371		0
12月	153		0	453		0

1) 過去5か年は平成19～23年の平均。

2) 平成24年2月の値は、2月中旬の速報値。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

2月の輸入量を植物防疫統計でみると、たまねぎは前年比81%(中国は同109%、米国は同38%)の3万トン、にんじんは同91%(中国は同94%、台湾は同60%)の6千トン、ねぎは同94%(中国は同94%)の4千トンとなり、たまねぎは前年を大幅に下回り、にんじん及びねぎは前年をかなり下回った。

野菜の輸入数量の推移

(単位：トン、%)

区分	平成22年	平成23年		平成24年1月	前年同月比
		前年比	前年比		
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	76,760
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	157,905
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	234,665
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	121,812
中国産シェア	51		52		55

資料：ペジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

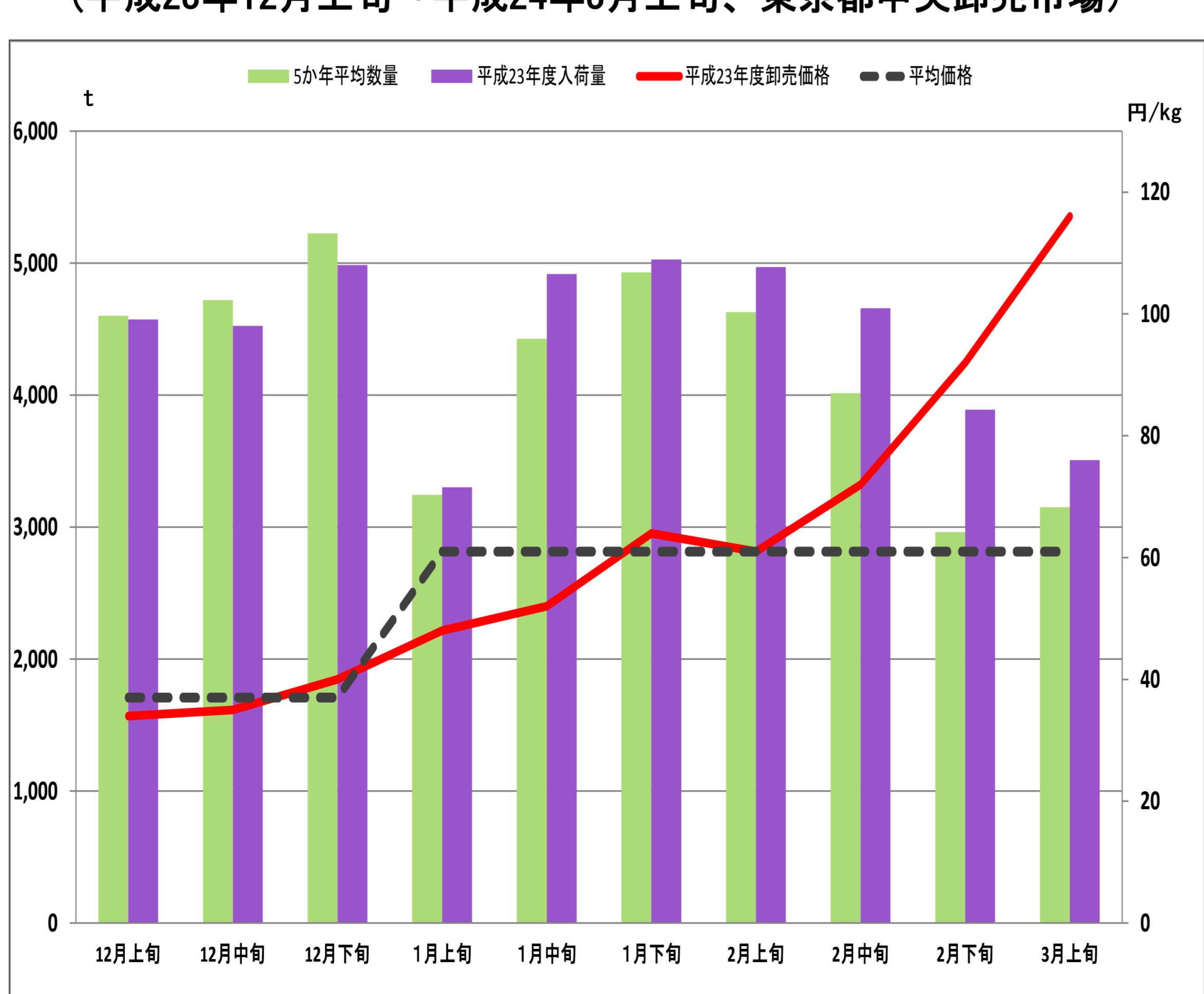
品目	輸入先	平成23年2月(A)	平成24年2月(B)	(B)/(A)
		過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
たまねぎ	合計	36,992	29,850	81
	中国	19,124	20,773	109
	米国	14,328	5,398	38
にんじん	合計	6,073	5,532	91
	中国	5,053	4,764	94
	台湾	867	523	60
ねぎ	合計	4,342	4,085	94
	中国	4,340	4,083	94

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年2月は、速報値である。

4 トピック ー はくさいの価格が高騰 ー

はくさいの卸売価格は、2月上旬まではほぼ平年並みで推移していたが、2月中旬以降、高騰している。これは、需要が堅調である中旬以降、出荷量が減少したことによるものと考えられる。すなわち、需要面では、(1) 年明け以降、全般的に野菜の価格が高めに推移する中で、はくさいの価格が安定していたことから、割安感があったこと(2) 気温が低めに推移し、鍋もの需要が堅調であったと考えられること(3) はくさい漬けの消費量も増加していること等、供給面では、平年以上の出荷がなされてきたが、2月中旬以降、大きく減少している。その結果、2月中旬以降、需要に十分な供給がなされず、価格が上昇に転じたものと考えられる。今後は、価格高騰により十分な手当ができないかった漬物需用等の業務用需要が堅調な一方、(1) 秋冬ものが平年より早めに出荷の終盤となること(2) 後続の春ものの生育が遅れており、本格的な出荷が4月上旬からと見込まれていることから、4月上旬までは高めの価格で推移すると見込まれる。

はくさいの入荷量と卸売価格の旬別推移
(平成23年12月上旬～平成24年3月上旬、東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

主な葉茎菜類の卸売価格の動向(平均価格比)